

(2024年6月25日現在)

■ 会社概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15番地 1
代表者	代表取締役会長 齋藤 高紀 代表取締役社長 菅野 孝太郎
資本金	500百万円
決算日	3月31日
従業員数	グループ: 512名 [外、臨時従業員33名] 単体: 31名(2024年3月31日現在)
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■ 役員

代表取締役会長	齋藤 高紀	取締役	石山 純恵
代表取締役社長	菅野 孝太郎	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 重光
取締役	羽田 和徳	取締役 (監査等委員)	菅野 晴隆
取締役	熊坂 秀一	取締役 (監査等委員)	鈴木 一徳
取締役	伊藤 信弘		

■ 株主メモ

上場市場	東京証券取引所スタンダード市場
上場日	2012年4月25日
証券コード	6060
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: https://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株主の皆様へ

2024年3月期のご報告



中期経営計画最終年度の取り組みを完遂する。



私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

— グループ理念 —

代表取締役社長
菅野 孝太郎



Q1 当期の連結業績と次期の見通しをお教えてください。

業績回復傾向を維持し、3期連続増収増益となりました。

当期(2024年3月期)における経営環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け緩やかな景気回復傾向が見られました。その一方で、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクが見え隠れするとともに、物価上昇、中東情勢、金融資本市場の変動等の影響にも注視が必要な状況でした。

こうした環境下、当期の連結業績は、前期の回復傾向を維持し、3期連続で増収増益となりました。売上高は、昨年9月に連結子会社化した株式会社喜月堂セレオが連結業績に貢献したこと、及び既存の葬祭事業が好調に推移したこと等により前期比5.0%増の10,035百万円となりました。営業利益は増収に伴う増益により同5.5%増の658百万円、経常利益は為替差益の計上等により、同24.2%増の830百万円となりました。また、婚礼会場の閉館に伴う減損損失計上額が前期よりも大幅に減少したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は同288.5%増の579百万円となりました。

次期の連結業績予想については、婚礼会場を閉鎖した婚礼事

業で減収となる一方、葬祭・石材・生花事業で業容拡大による増収を見込んでおります。また、人的資本への投資や設備投資等を含む経営資源の配分を実行すること等により、売上高は前期比3.9%増の10,430百万円、営業利益は同13.9%増の750百万円を見込んでおります。

■ 連結業績の推移

(単位:百万円)	2022/3 (実績)	2023/3 (実績)	2024/3 (実績)	2025/3 (予想)
売上高	8,675	9,562	10,035	10,430
営業利益	297	623	658	750
経常利益	341	668	830	830
親会社株主に帰属する 当期純利益	131	149	579	400

Q2 次に、セグメント別の業績動向はいかがでしたか。

葬祭事業が全体をけん引しました。

葬祭事業では、新規出店として「家族葬のこころ斎苑 牛久南」(茨城県牛久市)、及び「もとみや斎場 家族葬ホール」(福島県本宮市)を開設し、さらに「こころ館 西川田」(栃木県宇都宮市)

を事業譲受により取得しました。また、石材事業とのコラボレーション店舗「ぶつだんプラザ会津・石のカンノ 会津支店」(福島県会津若松市)を開設いたしました。そして山梨県韮崎市を本拠地とする喜月堂グループとのM&A実施により営業エリアの拡大を図りました。その結果、売上高、営業利益ともに前期比増となりました。石材事業では、石材卸売においては販売価格の見直しを行い、石材小売においては葬祭事業とのコラボレーション店舗開設等販売拠点の活性化にも取り組みました。また、仕入れの効率化を図る等コスト削減に取り組んだ結果、売上高はほぼ横ばいながら、営業利益は大幅増となりました。婚礼事業では、事業環境の変化等を踏まえ、「アニエス会津」「クーラーリアンテ サンパレス」2施設を閉館し、営業規模の適正化に努めました。また、婚礼の招待客数促進や宴会の受注促進強化等により婚礼施行単価や宴会施行単価等が前期よりも増加した結果、減収ながらも営業損失は縮小いたしました。

Q3 第4次中期経営計画の進捗状況と、今後の取り組み方針をお聞かせください。

中計最終年度の財務目標を下方修正するも、増収増益を目指して邁進してまいります。

当社グループは、「第4次中期経営計画」を推し進めており、当期で2か年の取り組みが終了しました。同計画では、「価値創造のフレームづくり」、「経営資源の集中と深化」、「経営基盤の強化」の3つを重点施策に掲げ、取り組んでおります。

具体的には、マーケティングの高度化に向けたWebマネジメント体制の再構築や葬祭事業のコンタクトセンター開設等を推し進めました。また、戦略的アセットマネジメントとして、葬祭・石材・婚礼の3事業において計画的スクラップ&ビルドを実施(前述の通

り)するとともに、喜月堂グループのM&Aによる業容拡大も行いました。更に、コーポレートガバナンスの充実を図るため、取締役会の実効性評価の実施及び結果の概要の開示や、株主総会の議決権行使に係る環境整備、BCM活動の実践によるリスク管理体制の強化等に取り組みました。

しかしながら、当期までの取り組み結果は、当初想定よりも厳しいものとなりました。例えば、長引くコロナ禍の影響により、葬儀・婚礼施行の小規模化はますます加速し、国際情勢の影響による石材の入荷遅延が発生しました。また、重点施策の一つである計画的スクラップ&ビルドの推進においても、葬祭会館の新規出店の候補地選定や建設工期が遅延し、施行件数への影響が生じております。更に、グループ全体で、原材料・エネルギー価格の高騰による仕入コストの上昇等が生じております。

こうした厳しい状況変化を鑑み、中計最終年度(2025年3月期)の財務目標について、誠に遺憾ながら、下方修正することいたしました。株主の皆様には、この場をお借りしてお詫び申し上げますと同時に、修正目標を少しでも上振れできるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

■ 中計最終年度(2025年3月期)財務目標の修正

(単位:百万円)	修正前	修正後	差異
売上高	12,010	10,430	△1,580
営業利益	1,080	750	△330
経常利益	1,195	830	△365
ROE	6.5%	4.5%	△2.0ポイント

更なるシナジーを発揮するとともに、 これからもお客様のところに寄り添うサービスの実現を図る

葬祭事業のたまのやと石材事業のカンノ・トレーディングは、2023年11月、福島県会津若松市に仏壇仏具及び墓石を販売する店舗「ぶつだんプラザ会津・石のカンノ会津支店」をオープンいたしました。仏壇仏具と墓石を1店舗に集約したことで、お客様はワンストップで供養の品をお買い求めいただけるようになりました。また、専門のスタッフを1か所に集約したことから、さらなるシナジーを発揮できると考えております。こころネットグループは、これからもお客様のところに寄り添うサービスの実現を図ってまいります。

名 称	ぶつだんプラザ会津・石のカンノ会津支店
所 在 地	福島県会津若松市対馬館町2-48 (たまのや こころ斎苑門田敷地内)
連 絡 先	ぶつだんプラザ会津 0242-93-7929 石のカンノ会津支店 0242-28-0341



詳しくはこちら **石のカンノ会津支店**

NEW

葬祭事業と石材事業のコラボレーション店舗 「ぶつだんプラザ会津・石のカンノ 会津支店」



外観



内部

特徴

- 自然光が入る明るく温かみのある店舗内には、様々な仏壇を常設展示しております。
- 位牌やお線香の他にも、お盆商品も取り扱っております。
- 公園のような広々とした展示場には、和・洋様々な墓石を展示しており、更には屋内にも展示スペースがありますので、天候を気にせずにご覧いただけます。

～戦略的アセットマネジメントとして、計画的なスクラップ&ビルドを実施～

当下期において葬祭事業では、昨今お客様ニーズの高い家族葬施設を充実させるべく、家族葬専用会館をオープンいたしました。一方婚礼事業は、社会情勢や業績等を総合的に勘案し、施設の集約を行いました。

TOPICS 1 葬祭会館の新規オープン

葬祭事業の株式会社たまのやは、2023年12月、福島県本宮市の「もとみや斎場」敷地内に家族葬専用会館「もとみや斎場家族葬ホール」をオープンいたしました。かねてよりお客様からのご要望が強かった同地区において、初めての家族葬専用会館のオープンとなりました。

施設タイプ	家族葬専用葬祭会館
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● セレモニーホールは、最大30名収容で、家族葬や火葬式だけでなく法事にも対応可能です。 ● ご遺体の直接安置が可能で、ご遺族の方の宿泊も可能です。(ご遺体の受入れは24時間365日対応可能です) ● 宗旨宗派は問わずにご利用可能です。



外観



内装

TOPICS 2 葬祭会館運営の譲受

葬祭事業の株式会社北関東互助センターは、従来より栃木県宇都宮市にて葬祭会館5施設を運営してまいりました。2024年2月、営業エリアの拡大を図るため、葬祭会館「こころ館 西川田」の運営を株式会社ライズより譲受いたしました。これにより、同社の営業エリアが拡大いたしました。

施設タイプ	1日1葬儀貸切型、家族葬専用葬祭会館
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● セレモニーホールは、最大10名収容で、家族葬や1日葬(通夜を行わないスタイル)に対応しております。 ● ご遺体の直接安置が可能で、ご遺族の方の宿泊も可能です。(ご遺体の受入れは24時間365日対応可能です) ● 宗旨宗派は問わずにご利用可能です。



外観

TOPICS 3 営業規模の適正化

婚礼事業の株式会社With Weddingは、同社が運営する婚礼会場「アニエス会津(福島県会津若松市)」を2023年11月に、同じく婚礼会場「クワラクーリアンテサンパレス(福島県福島市)」を2024年3月に閉館いたしました。これによって婚礼事業は福島県郡山市の2施設に集約されることとなりました。なお、2024年4月に、ケータリング施設「フーズワークスサンパレス」を開業し、ケータリング業務を開始しました。また、福島市内の公共施設において宴会等のバンケットサービス及びケータリングサービスを提供することが決定し、2024年10月のスタートに向けて準備を進めております。



アニエス会津



クワラクーリアンテサンパレス



フーズワークスサンパレス
ロゴ

【福島市内】
ケータリング業務
4月スタート!

“フーズワークスサンパレスのお料理で
みんなが笑顔に”

■ 連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2023年3月31日現在	当期末 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,574	4,546
現金及び預金	4,005	3,122
受取手形	14	22
売掛金	540	528
有価証券	275	129
その他	737	743
固定資産	13,072	14,721
有形固定資産	8,007	8,866
無形固定資産	276	799
投資その他の資産	4,789	5,055
資産合計	18,646	19,267

	前期末 2023年3月31日現在	当期末 2024年3月31日現在
負債の部		
流動負債	1,387	1,511
買掛金	362	290
1年内返済予定の長期借入金	53	31
その他	970	1,189
固定負債	9,188	9,182
長期借入金	41	9
前払式特定取引前受金	8,831	8,809
その他	314	364
負債合計	10,575	10,694
純資産の部		
株主資本	7,971	8,452
資本金	500	500
利益剰余金	5,516	5,983
その他	1,954	1,968
その他の包括利益累計額	99	120
純資産合計	8,071	8,572
負債・純資産合計	18,646	19,267

■ 連結損益計算書(要旨)

	前期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日	当期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日
売上高	9,562	10,035
売上原価	6,511	6,656
売上総利益	3,050	3,379
販売費及び一般管理費	2,426	2,721
営業利益	623	658
営業外収益	116	215
営業外費用	71	43
経常利益	668	830
特別利益	38	8
特別損失	559	48
税金等調整前当期純利益	147	790
法人税等合計	△2	210
当期純利益	149	579
親会社株主に帰属する当期純利益	149	579

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

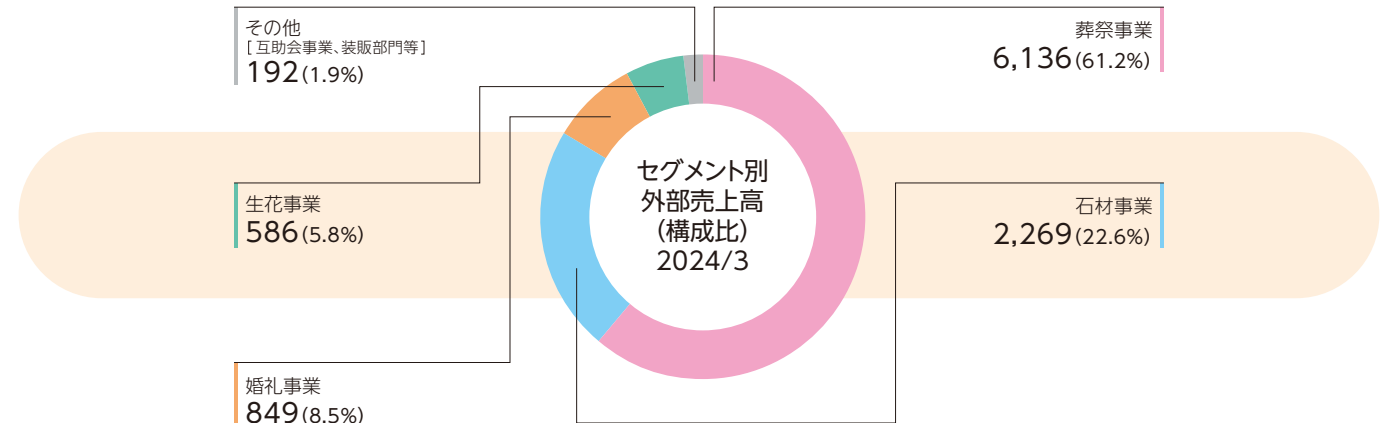
	前期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日	当期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	916	1,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100	△1,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235	△649
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額	581	△883
現金及び現金同等物の期首残高	3,424	4,005
現金及び現金同等物の期末残高	4,005	3,122

■ 配当政策

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、安定した配当を継続的に実施することを基本方針とし、内部留保資金については、財務体質の強化、今後成長が見込める事業分野への投資、設備投資、研究開発投資、人的資本への投資等、今後の事業展開に備えた経営基盤の強化に活用いたします。2024年3月期の1株当たり年間配当金については、30円(中間配当15円・期末配当15円)といたしました。なお、2025年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

■ セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



■ 業績・財務コメント

■ 連結貸借対照表

流動資産：現金及び預金、有価証券が減少したこと等により、1,027百万円減少しました。

固定資産：主に喜月堂グループの連結子会社化等により建物及び構築物、土地、のれんが増加しました。また、前払式特定取引前受金保全のための金銭供託により供託金が増加したこと等により、1,648百万円増加しました。

流動負債：買掛金が減少した一方で、未払法人税等及びその他(未払金)が増加したこと等により、124百万円増加しました。

固定負債：主に喜月堂グループの連結子会社化等により資産除去債務が増加した一方で、長期借入金が増加したこと等により、5百万円減少しました。

純資産：利益剰余金が増加したこと等により、501百万円増加しました。

■ 連結損益計算書

売上高の状況：既存の葬祭事業における増収及び株式会社喜月堂セレオが連結業績に貢献したこと等により、前期比473百万円増加しました。

利益の状況：広告宣伝の強化に加え、喜月堂グループの連結子会社化により、原価、販管費が増加しましたが、増収幅がコスト増加幅を上回ったため、営業利益は同34百万円増加しました。また、為替差益の計上等により、経常利益は同161百万円増加しました。加えて、婚礼会場の閉館に伴う減損損失が前年よりも大幅に減少したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は430百万円増加となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は1,059百万円、投資活動の結果使用した資金は1,293百万円、財務活動の結果使用した資金は649百万円となりました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて883百万円減少し、3,122百万円となりました。

たまのや 福島県内：葬祭会館 27施設、仏壇・仏具販売店 2店舗 茨城県内：葬祭会館 3施設



With Wedding 福島県内：婚礼会場 2施設 **喜月堂セレオ** 山梨県内：葬祭会館 3施設 仏壇・仏具販売店 1店舗



カンノトレーディング 福島県内：石材小売店舗 5店舗 長野県内：石材小売店舗 1店舗



北関東互助センター 栃木県内：葬祭会館 6施設



(2024年3月31日現在)

株式の状況

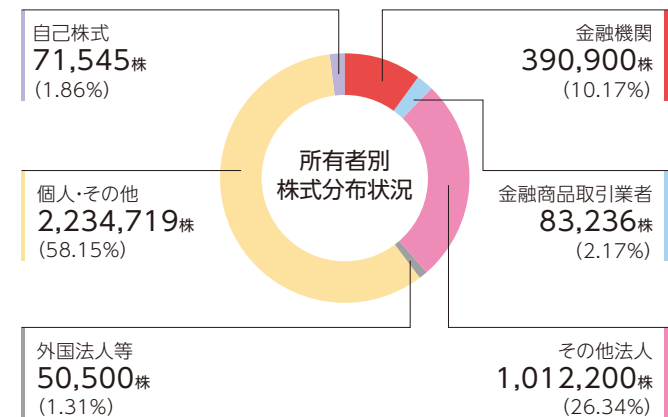
発行する株式の総数 5,100,000株
 発行済株式の総数 3,843,100株
 株主数 918名

大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	920,000	23.93
齋藤 高紀	429,300	11.17
川島 利介	280,575	7.30
こころネットグループ従業員持株会	183,440	4.77
株式会社東邦銀行	175,000	4.55
株式会社福島銀行	135,000	3.51
内藤 征吾	114,100	2.96
水元 公仁	103,900	2.70
菅野 孝太郎	85,140	2.21
こころネット株式会社	71,545	1.86

※ カンノ合同会社は、当社代表取締役社長菅野孝太郎及びその親族の保有資産の管理を行う会社です。
 ※ 持株比率は自己株式(71,545株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価・出来高の推移

